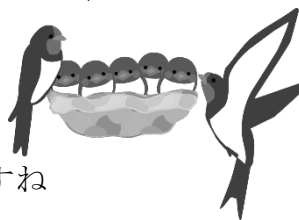


小林 豊機（専務理事）：令和元年 7 月 26 日
職員の皆さんへ

盛夏お見舞い申し上げます
燕は「ほほえみの郷」の青い鳥ですね



6 月末から職員テラスの軒下に、燕が巣作りをしています。開設の翌 22 年から始まりましたが、ここ 3 年は、燕の姿は見られず一抹の寂しさを感じていました。

いま、つがいの 2 羽が餌を求めて飛び交う姿を見ると、かわいい雛の誕生も間近に感じられ楽しみです。

燕は、特に安全な場所に巣づくりをすること。その燕の再来こそ、「ほほえみの郷」が安心安全の施設であり、私たちに元気を与えてくれる「青い鳥」でもあります。

最近、ご利用者の皆さんが、ユニットやリハビリ室で「刺し子や塗り絵、生け花」など熱心に取り組まれている光景はほほえましい限りです。これも介護アドバイザーやリハ職員を中心に現場職員の積極的な支えがあつてのことと存じます。作品も素晴らしいですね。

22 日のドクター会で、石川理事長が「この半年、訪問診療する中で、ご本人やご家族から「職員の皆さんには大変良くしていただきました。」との感謝の言葉を頻繁に耳にして嬉しい気持ちになります」と囁かれていました。私も「ご利用された方々の率直な気持ちの現れだと思います」と応じました。充実の介護現場が、在宅復帰した方々からも評価されている証しですね。